

平成 29 年度静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞の受賞者について

■応募総数：21 件

○温室効果ガス排出削減対策部門	大企業等の部	3 件
	中小企業等の部	7 件
○地球温暖化防止普及・啓発部門	学校等の部	3 件
	個人・団体の部	8 件

■審査：県民、事業者、関係団体、地球温暖化防止活動推進センター、行政機関等で構成する静岡県地球温暖化防止県民会議の広報普及部会において審査・選考。

■選考結果

部門	被表彰者	標題	事例概要	評価のポイント
温室効果ガス排出削減対策部門	大企業等の部 東芝機械株式会社 (沼津市)	地下水利用による空調の省エネ化(ターボ空調機の導入)	1962年に地下水熱利用を先進的に導入し、大幅な排出削減を達成。また、県環境衛生科学研究所の研究協力など、地下水熱利用促進に貢献。	先進性・波及効果のほか、間欠運転化など継続的な運用改善を図っている点
	中小企業等の部 コアレックス信栄株式会社 (富士市)	紙の焼却処分から製紙原料への転換による、CO2削減	高効率最先端設備により、従来焼却処分されていた雑紙を製紙原料へ再生。従来焼却時に排出されていた温室効果ガスを低減し、資源循環に寄与。	今後さらなる温室効果ガス削減が期待できるとともに、資源循環に向けた意識変容が期待できる点
地球温暖化防止普及・啓発部門	学校等の部 富士宮市立富士根北中学校 (富士宮市)	カタクリの保護活動(カタクリの里再生学習)	中学校が主体となり、「種まき交流会」「かたくり新聞」の発行を通じ、小学校や地域と交流しながら、「カタクリ」の保護活動を実施。	18年にわたる「カタクリ」の育成により、将来の地球温暖化防止取組の芽を地域と協働して生み出している点
	個人・団体の部 三島市ストップ温暖化推進協議会 (三島市)	地球温暖化防止に関する事例・情報収集、市民に対する普及啓発活動の実践	廃油キャンドル作り等のイベントや、自作の燃料電池車模型を活用した講座など、市・地域の店舗・学校等と連携しながら幅広い世代に対し普及啓発を実施。	9年にわたり、4,000人/年もの多くの県民に対する普及啓発を実施している点

■表彰式：ふじのくにエコチャレンジCUPにて実施

(平成 30 年 2 月 17 日(土)、静岡県コンベンションアーツセンター)